

かみどのならぶ  
**圃場整備事業**  
 上殿奈良部地区（平成18年3月完成）

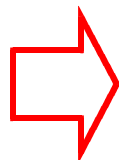
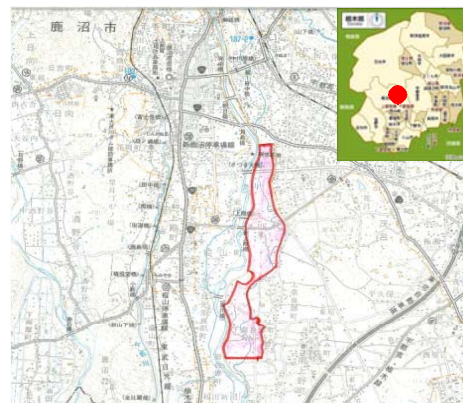
### 1. 事業概要

本地区は、鹿沼市のほぼ中央部に位置し、一級河川黒川及び準用河川瀬戸川に沿った水田地帯で、標高は110～134m、地形は1/120～1/190の勾配を有し、水稻を中心とした地域である。

農地は20アール程度の不整形な水田が大部分を占め、道水路も狭小で屈曲し整備されていないことから、効率的営農が困難な状況にあり、基盤整備は重要な課題となっていた。

このため、農地の大区画化と併せて担い手への農地集積を推進し、排水条件の改善による農地利用率の向上や生産性の高い農業構造の確立を図る事を目的として圃場整備事業を実施した。

事業名	県営圃場整備事業		
事業主体	栃木県		
事業箇所	鹿沼市上殿町、上奈良部町、下奈良部町、日光奈良部町		
受益面積	118ha		
受益者数	239人		
整備内容	整地工 118ha	用水路工 18.8km	道路工 17.3km
	排水路工 16.1km		
	客土工 56ha		
総事業費	13.9億円		
事業期間	平成9年度～平成17年度		



### 2. 事業費等の変化

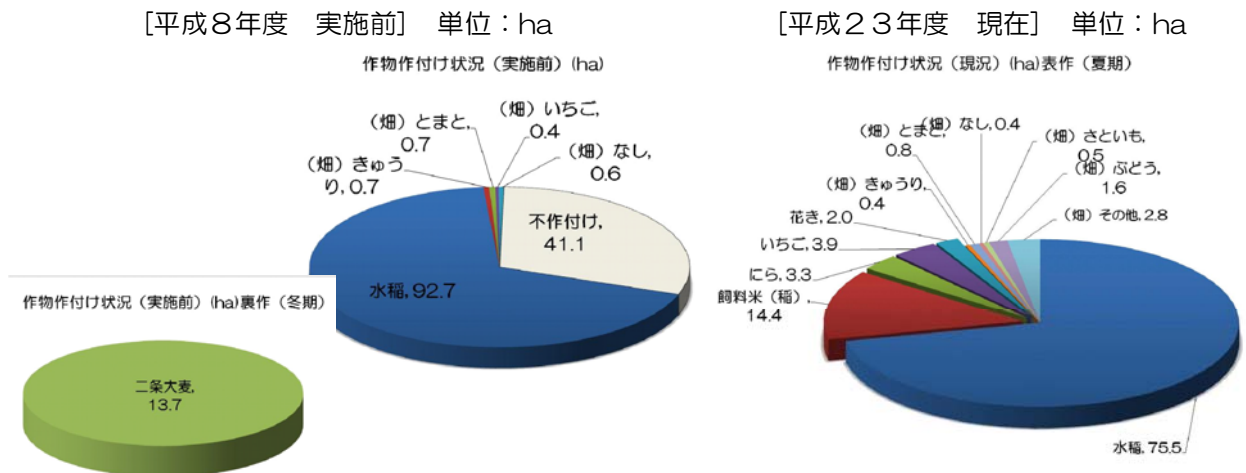
① 項目	事業採択時	事業完成時	増減
受益面積	125ha	118ha	△7ha
総事業費	18.2億円	13.9億円	△4.3億円
工期	H9～H13	H9～H17	

受益面積については、本事業以前に既に個人で大区画化しており、新たな整備に対する意欲が低いこと等により、7haの減となった。また、事業費についても、受益面積の減と共に客土工が減となり、4.3億円の減となった。

## ②農作物の作付け状況

事業実施前は概ね水稲単作の状況であったが、圃場整備事業により大型機械及び施設園芸の導入が可能となり、転作作物としてイチゴ・ニラ・花き等が約9ha作付けされるようになった。

耕地利用率 [実施前] 80% → [現在] 107%

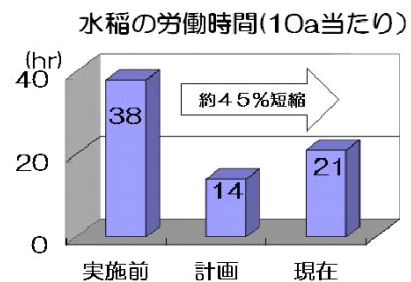


## 3. 事業の整備効果等



### ①農作業に係る労働時間の短縮

事業により農地の集団化、大区画化が図られ、大型機械の導入等により農作業に係る労働時間が約45%短縮された。

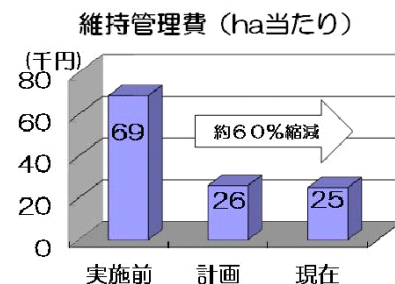


(担い手農家聴き取り)

### ②維持管理の軽減

用排水、道路の整備により、施設に係る維持管理費が約60%削減されている。

維持管理費： 69千円/年(実施前)  
↓  
25千円/年(現在)



(黒川東土地改良区聴き取り)

### ③事業を契機とした担い手への農地集積の状況

農地の大区画化や大型機械の導入が可能となり、効率的な農業経営が可能となったことから、担い手農家への農地集積も進み、経営基盤の強化が図られている。

また、担い手が中心となり平成13年4月に上殿奈良部地区営農組合を設立し、集落営農を推進している。



[整備前] 12ha 8%  
 [現在] 34ha 29%  
 地区内経営面積 (ha) 約3倍  
 地区内農地集積率 (%)

④河川事業と合わせた洪水被害の解消  
 地区内を縦断する準用河川瀬戸川は小断面で蛇行していたが、本事業と合わせて河川改修を行った結果、集落や農作物並びに農業用施設への洪水被害が解消された。



#### 4. 事業により整備された施設の管理状況

水路は黒川東土地改良区が管理者であり、組合員が年1回の土砂さらいや除草等を実施するなど適切な管理が行われている。  
 農道は管理者である鹿沼市が適切に管理を行い、日常の除草・清掃作業等は黒川東土地改良区が行っている。



#### 5. 事業実施による環境の変化

事業実施により、狭く屈曲していた農道が整備されたことで通勤・通学など地域の生活道路としても利用されるなど、利便性が向上している。



#### 6. 社会経済情勢の変化

特になし

#### 7. 今後の課題等

- ①農業を支える生産基盤の環境は整ったことから、今後、より一層の農地集積、転作作物の導入などの高度利用、さらには農業用施設の維持管理体制の整備等、地域で一体となった推進が必要である。
- ②アンケート調査から一部の湿田や用水不足、生活道路の整備充実などの意見が出されており、今後、対応策について改良区等と共に検討が必要である。

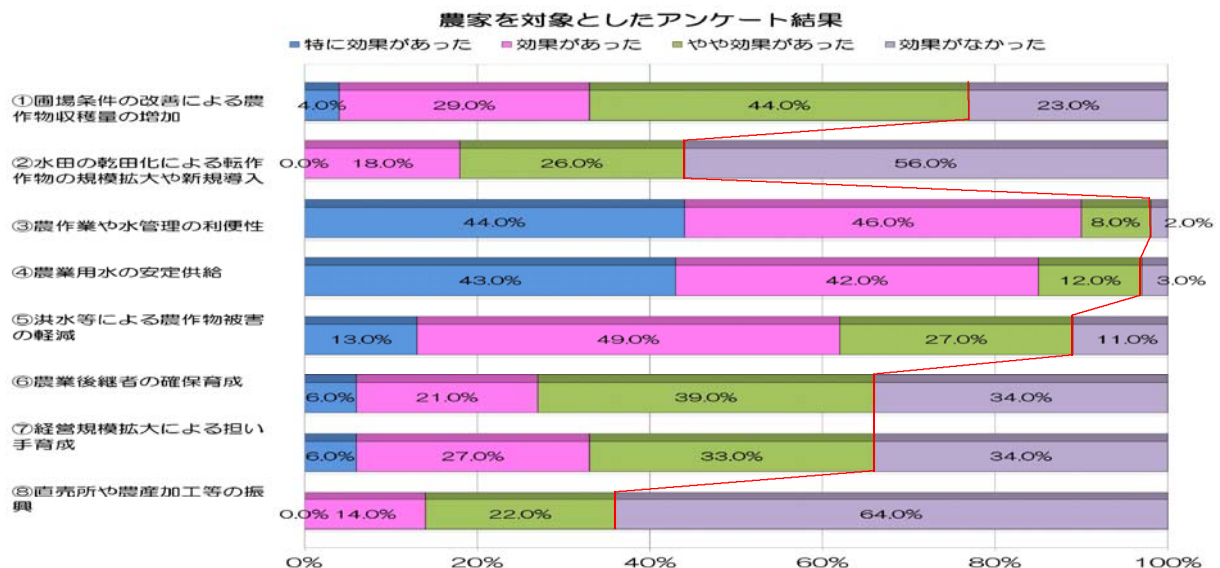
#### [参考：アンケート調査結果について]

本地区内の農家、非農家を対象に事業実施に対する効果の発現状況について調査を行った。  
 (配布戸数 141戸 回答 136戸 回答率 96.5% H23.7実施)

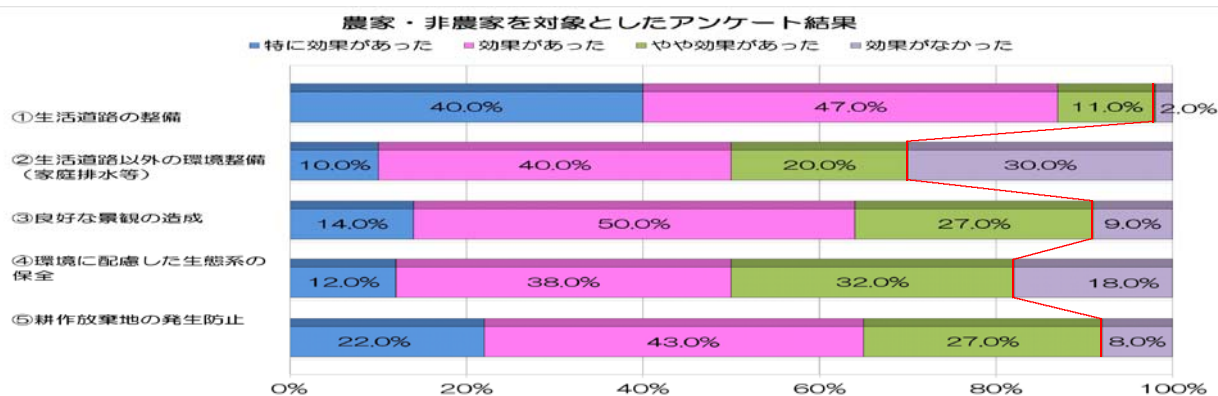
[アンケート結果から考察する地域住民の事業に対する評価]

事業の実施により、農業用水の安定供給と農作業や水管理の利便性について、高評価を得ている。また、生活道路の整備についても高評価を得ている。

#### ①農家を対象としたアンケート結果



## ②農家・非農家を対象としたアンケート結果



## ③自由意見

### 【農家】

- ・土地境界・水田面積が正確になったので、財産管理がしやすくなった。
- ・畦畔が大きく草刈りが大変であるので、できるだけ田んぼの段差を少なくして欲しい。
- ・大型機械の導入が容易になり、道路も整備されたため、借り手が容易に見つかるようになった。
- ・道路が整備されたことにより、朝夕の交通量が増え、機械の移動が大変です。
- ・いちごの栽培が効率的になった。
- ・道路や水路の整備により利便性が向上し、本当によかったと思います。
- ・U字溝など人工構造物が増え、生物にとっては生息しにくい環境となっている。
- ・営農組合ができて農作業を委託することができ、農業機械を買う必要がなくなった。
- ・基盤が悪いため、土が深すぎ、水はけが悪く、毎年、稲刈りの時、大型コンバインがうまらぬか心配している。水はけを良くしてほしい。
- ・道路が良くなり交通量が増え、場所によっては川沿いの道を走ることから事故防止のため、是非ガードレールをつけて欲しい。
- ・田が末端で用水が不足する。また、降雨時に水路から水があふれて田に入るので、改善して欲しい。

### 【非農家】

- ・道路が整備されたが、交通量も増え危険になり、ゴミの投げ捨ても多くなった。
- ・道路、用排水路が良くなり、生活環境が良くなった。

栃木県 農政部 農地整備課

TEL : 028-623-2364 FAX : 028-623-2378

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/g07/index.html>

E-mail : nochi-seibi@pref.tochigi.lg.jp

